

令和4年度入試の出題意図・ねらい

第1問

国際的な問題に関わる著名な演説文を読ませ、その理解を前提にした要約を行わせることにより、受験生の思考力と表現力を問う。

第2問

(日本が世界で唯一の核兵器被害国であることを踏まえつつ) 国際関係の学びにおいてもっとも初歩的な事柄(戦争と平和)に関わる問いを答えさせることにより、受験生の国際関係への関心、主体的な探究心を問う。

第3問

問題文(演説文)の核心的な内容(「道義的な目覚めの始まり—Toward a Moral Awakening—」)に関わる一節についての考えを、文章中の内容や経験、学習内容を踏まえて答えさせることにより、受験生の思考力と表現力、また主体的な探究心、協働性・多様性への理解程度を問う。

上記、主体的な探究心、協働性・多様性への理解程度を問う回答について、なぜこのような記述となるのか、高校時代の成績や学修に何か背景があるかを知りたい場合に、調査書における高等学校での学習成果や活動の記録等の「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を小論文評価の際の参考とする。